

(対象期間：2020/6/15～2020/6/19)

【株式市場】 SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2020年6月19日)



【株式市場】

週初は新型コロナウイルス感染第2波への警戒感から、インド株式市場は下落しました。翌日は米連邦準備制度理事会（FRB）の社債買い入れ開始の発表が支援材料となった一方、中印国境での衝突が嫌気されました。18日は通信セクターの過去の電波利用料を巡る最高裁の判断が事前の懸念ほど厳しいものでなく、同セクターへ貸出のある銀行株などが買われ、19日は純有利子負債がゼロとなったコングロマリットの株式がけん引し、週間でも上昇しました。

2020/6/12	2020/6/19	変化率
33,780.89	34,731.73	+2.81%

【債券市場】 インド自国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年6月19日)



【債券市場】

週初は小動きとなりました。翌日は中国との国境付近で発生した衝突により死者が出たとの報道を受け、地政学リスクの高まりからインド10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。17、18日は地政学リスクへの警戒感がくすぶる中で買い戻しの動きが見られ、利回りは低下しましたが、19日に再び上昇しました。週間でも、利回り上昇となりました。

2020/6/12	2020/6/19	変化幅
5.797	5.851	+0.054

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年6月19日)



【為替市場】

中国との国境付近で発生した衝突により、死者が出たことを受けた地政学リスクの高まりや、米大手格付け会社がインドの格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げたことなどを背景に、ルピーは対米ドルで下落しました。また、円が対米ドルで上昇したことから、対円でもルピーは下落しました。

2020/6/12	2020/6/19	変化率
1.416	1.403	-0.92%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。 ※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。 ※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 ※当資料で使用するグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。 ※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。 ※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。